

宮崎労働局長による「働き方改革」企業トップへの働きかけ

－矢野産業株式会社－

平成 29 年 1 月 24 日、元木宮崎労働局長が、矢野産業株式会社の代表取締役社長である矢野俊也氏を訪問、「働き方改革」への取組状況をお聴きし、更なる取組への推進をお願いいたしました。

訪問企業名	矢野産業株式会社
所在地	宮崎市
従業員数	65人
事業内容	砕石業

1 はじめに

当社では、発破の仕事が人気で、2003年に放映された西部警察の発破の場面は、当社が行った。採掘した後は、カナダの会社が実施しているようにガーデンにする予定である。3年前に創立50周年となり、100周年企業となるよう施設内にサッカー場を建設するなど地域への貢献を図りながら企業のブランド力をあげる努力を行っている。

現在、政府が進めようとしている「同一労働同一賃金」や「超過勤務時間」について、職場での見直しをしている。

2 社員のやる気を引き出す表彰制度

当社は、公共工事主体の業務を行っており、11月～3月は忙しく、天気によって左右される業務である。

グループ会社の矢野運輸では、事故のない安全な職場を作るため、無事故者表彰を実施しており、無事故者の表彰は社員だけであったが、平成29年1月から、60歳以上の定年退職後の再雇用者に対しても勤続年数を通算し、表彰することとした。また、努力賞、創意工夫賞、優良社員賞を冬に発令式で表彰していたが、4年前から夏の表彰として、内勤者の努力を表彰できる「扇の要で賞」を設けた。

また、社長が選定した本の読書感想文に対する感想文手当を毎月支給し、1年間通じて読書感想文を提出した社員には、完読賞3万円を支給している。

3 女性の活躍促進

女性管理職として、総務課長、経理課長がいる。

来年4月より、現場勤務の女性を募集している。これまで、工業高校へ求人を出していたが男性からの応募しかないので、求人を出す学校の範囲を広げている。また、

現場は天候により休みがあるが、事務職はないため、昨年12月より土曜日の年次有給休暇取得を勧奨し、連続休暇を取得しやすくするなど働きやすい職場づくりに取り組んでいる。

矢野運輸では、ダンプに乗務する女性は複数いる。しかしながら、これまで定年まで勤務した女性は1人しかいない。妊娠・出産・育児は乗り越えても、親の介護でやむを得ず離職する者がいる。介護終了後の者を再雇用した例もある。

4 若者の活躍促進

高卒で入社した社員に対するオリエンテーションには両親も参加する工場見学会を開催。

2年継続勤務者を対象に新人王で表彰する制度がある。

2月に、20歳になった社員を対象に、社員の保護者を招待して成人式を行っている。

昨年夏には、継続勤務4年目までの社員を対象に、保護者対象の工場見学会を開催し、社員が運転する大型ダンプカーに保護者を乗せるなど、社員の成長を実感いただいている。

しかしながら、高卒者における定着率は6割程度となっており、離職率を抑制する取組として保護者の意見も重要視しており、企業に対する認識を図るべく保護者の工場見学も行っている。さらに、工夫し離職率抑制を図っていきたい。

また、学校の先生を対象とした会社見学会を行ったり、大学生を対象としたインターンシップを行うなど当社の宣伝に努めている。

